

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 24日

事業所名：はっぴークローバー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づき指導訓練等のスペースを十分に確保している。	はい…13人(100%)	保護者へ更に周知を図るように努めていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づき職員の配置をしている。	はい…11人(84%) わからない…2人(16%)	継続して進めていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	フロアにはクッション性の高いマットを敷いており、階段昇降時に不安がある利用者は必ず職員が付き添っている。予定の把握や片付けなどにおいて、視覚的に認識できるよう掲示物を設置している。	はい…11人(84%) わからない…2人(16%)	今後も安全に過ごせる様、取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日各所の清掃を行い、心地よく過ごせる空間を確保している。到着時、昼食・おやつ前等手洗い、うがい、消毒を実施している。学習や制作等をするスペースと、遊ぶスペースを明確に分けている。	はい…13人(100%)	清潔を維持し、感染防止に努めながら、今後も継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に職員会議を行い、業務全般についての報告、改善点の確認を実施している。		継続して進めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は実施していないが、他事業所からのアドバイス等は、取り入れている。		今後、継続していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修案内を回覧し、外部研修への参加を実施している。研修参加者から職員へのフィードバックも定期的に行っている。		継続して進めていきます。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者面談を実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認、分析し計画を作成している。また電話や送迎時等、随時連携を図りニーズの把握に努めている。		今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別・集団活動を計画し、実施している。	はい…13人(100%)	今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの状況に応じて支援に必要な項目、具体的な支援内容を記載している。		今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員会議や日々の申し送り等でも確認し、作業療法士等様々な職員からの視点を取り入れながら実施している。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	担当の職員が主体的な立案者となり、専門職を含めた全職員の意見、利用者の現在の状態等確認し、立案している。		今後も継続して、努めていきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇などのサービス提供時間に応じて、支援を行っている。長期休暇は子どもたちの興味や能力を考慮した上で、様々なプログラムを実施している。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	長期休暇、学校休業日には、インフルエンザ等の感染症リスクを勘案しながら屋外での活動や季節行事を取り入れている。それに際して、職員全体で様々な意見を出し合い、豊富な活動プログラムを構成している。		今後も継続して、努めていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日始業時のミーティングで、支援内容、状況の共有化を図り、確認を徹底している。		今後も継続して、努めていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	児童発達支援管理責任者が状況に応じて、指導員から状況説明を受け、当日できない場合は、職員申し送り記録帳に記載し、再度翌日申し送っている。		今後も継続して、努めていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の支援内容や様子を、個々の記録として残している。支援の検証は継続して実施し、改善を図っている。		今後も継続して、努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回の保護者面談を実施し、その結果を踏まえ支援計画の見直しを行っている。		今後も満足度が上がるように、継続して努めていきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	サービス担当者会議には、必ず児童発達支援管理責任者が出席し、現在の状況、状態、今後の課題等を話し合っている。	今後も継続して、努めていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、該当者なし。	状況に応じて、進めていきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、該当者なし。	状況に応じて、進めていきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、見学・面談・電話・メール等での情報の共有を行っている。 学校行事(トライやる)等の相談も受け、学校と連携しながら支援を進めている。	今後も継続して、努めていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在のところ該当する利用者がいないため出来ていないが、その機会があれば積極的に情報の提供を行います。	状況に応じて、進めていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各研修に参加し、職員へのフィードバックを行っている。	今後も継続して、努めていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	学校休業日や、長期休暇を利用して外出活動等を利用し、交流を実施している。	はい…4人(30%) どちらともいえない…1人(8%) いいえ…1人(8%) わからない…7人(54%)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の行事等に参加させていただいている。		今後も地域の行事に積極的に参加し、地域交流を目指します。	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時や契約時、また利用開始後も不明な点や疑問点があれば随時説明を行っている。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書を書面で渡し、支援内容の修正の有無を確認してから、ご署名を頂いている。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	特別な機会は設けていないが、必要に応じて、事業所に来所して頂いたり、電話や電子メール、家庭訪問等実施している。	はい…7人(54%) どちらともいえない…2人(16%) わからない…4人(30%)	随時実施しているが、ペアレント・トレーニングと認識されていないことが多かった為、よりわかりやすく周知していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の送迎や連絡帳にて、情報交換を行っている。また電話や電子メールにて、いつでも情報交換ができるよう体制を整えている。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、時間を設け訪問や面談、電子メールや電話等で相談に応じている。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	特別な機会は設けていない。	はい…4人(30%) いいえ…5人(40%) わからない…4人(30%)	このような機会を望む保護者様と、望まない保護者様の声も多数あり、慎重に進めていきます。また希望者の多くも、保護者会よりも個別の懇談会や相談時間を希望されているため、保護者会につきましては、今後も慎重に進めていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	24時間転送電話にて、迅速な対応ができるようにしている。	はい…13人(100パーセント)	今後も継続して、努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、絵カード等を使用したり、文字を大きくしたり困ったりして認識しやすくなるよう配慮している。	はい…13人(100%)	お子様の状況・心身機能の状態に応じ進めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の行事予定を配布している。 また、連絡帳にて活動・行事での様子を報告し、さらに活動内容をホームページにて発信している。	はい…12人(92%) どちらともいない…1人(8%)	今後も継続して、努めていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は、鍵付きの書庫で保管し、廃棄時は細断するなどし外部に持ち出さないよう徹底している。	はい…13人(100%)	今後も、個人情報の取り扱いを徹底していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成し、緊急時の対応に取り組んでいる。感染症流行時には、電子メールや手紙などで予定の変更や対応について周知している。	はい…12人(100%) わからない…1人(8%)	より理解して頂けるよう、周知方法を検討していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に、地震、火災、不審者等の避難訓練を実施している。	はい…13人(100%)	今後も継続して、努めていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	委員会を設置し、虐待防止の研修を実施している。		外部研修に積極的に参加し、その内容を職員に周知していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在のところ、身体拘束を必要とするケースがない。		今後、該当するケースがあった場合は、本人、保護者等、その都度事前、事後説明報告し、話し合いの機会を設定し、徹底していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りにて、アレルギーの有無を確認し、個別に対応している。		今後も継続して、努めていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例は、スタッフ間で共有している。		今後も継続して、努めていきます。